

がんと診断された患者さんにご家族が抱える気がかり・辛さを
一緒に考える多職種ケア

がんの薬物治療を受けることになったら

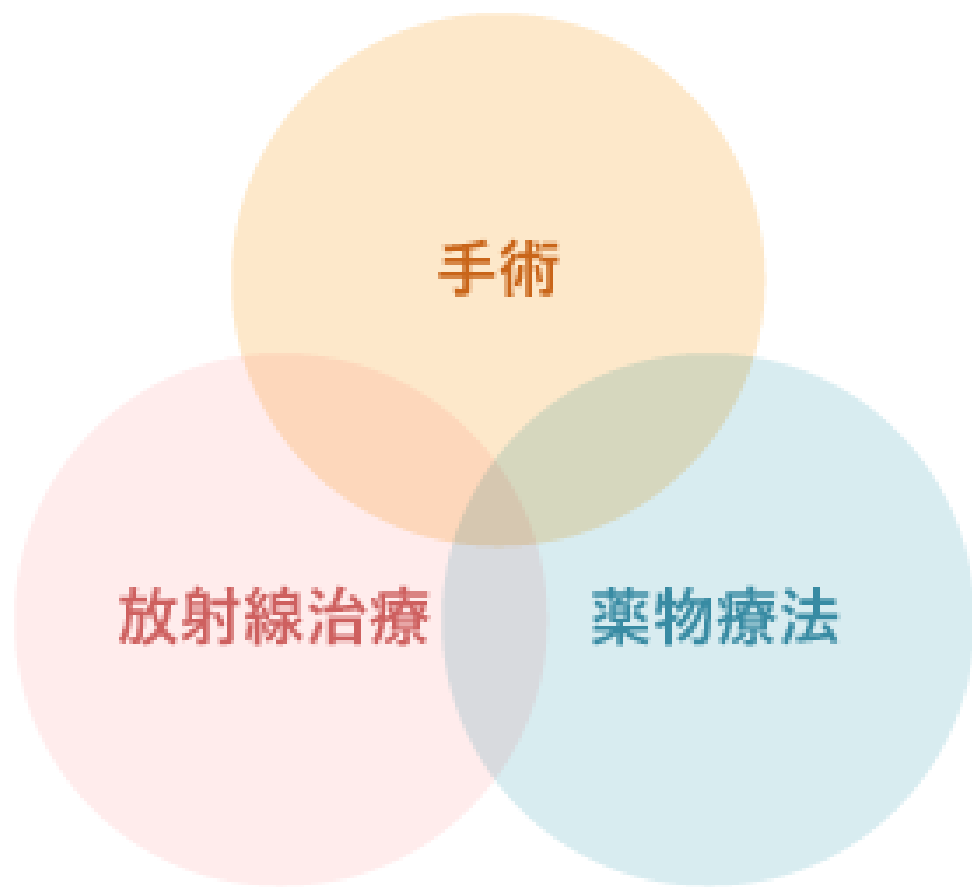


薬剤科

緩和薬物療法認定薬剤師

山田 眞由美

がんの治療



- 支持療法
- 緩和ケア
- その他の専門的ケア

がんの薬物治療（抗がん剤）

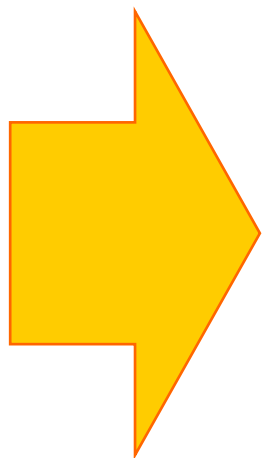
がんの薬物治療

化学療法

分子標的療法

内分泌療法

免疫療法



- がんを治す、がんの進行を抑える、がんによる症状を緩和
- 薬の効き方、特徴がそれぞれ違う

がんの種類や進行度、がんの性質などに応じた治療を基本として、患者さんの希望や生活環境などを考慮し、担当医と話し合って決めていきます。

抗がん剤を受けることになったら…



副作用とその対処法について、治療が始まる前に医師や薬剤師から説明があります。よく聞いて、分からないことはしっかりと確認しましょう。

抗がん剤の副作用；吐き気

予防が大事！

抗がん剤治療を順調に、負担なく続けられるようにすることが重要です。

- ・ 抗がん剤の種類によって吐き気の程度が違い、個人差もあります。
- ・ 抗がん剤の直後から起こる場合もあれば、数日たってから起こる場合もあります。吐き気は5日前後続くことがあります。

薬剤師ができること

- 抗がん剤の吐き気の出やすさに応じて、吐き気止めの種類や組み合わせが決まっており、それに従って吐き気止めがあらかじめ処方されます。
- 抗がん剤治療の後、吐き気の程度、時期などを患者さんから聞き取り、その患者さんに応じた吐き気止めを検討し、医師に処方を提案します。

ステロイド

5-HT3受容体
拮抗薬

NK1受容体
拮抗薬

オランザピン

抗不安薬

ドパミン受容体
拮抗薬

抗がん剤の吐き気に使う薬

最後に

何かわからないことがありましたら、ご相談ください。
本日はどうもありがとうございました。

